

2007/07/10

菊地昌弥（キリスト教と文化研究所客員研究員：国際理解とボランティア）

受賞名：日本農業市場学会 奨励賞

日本農業市場学会賞授与規程に基づきますと、奨励賞は表彰を行う前年の3月末日に至る2年間に優れた研究業績を公刊し、今後一層の発展が期待される、満40歳未満の会員に授与されるものです。

対象論文名：菊地昌弥「輸入冷凍野菜市場における成熟化の進行」『農業市場研究』2006年6月、第15巻第1号（通巻63号）。

内容：

著者（菊地）は、輸入野菜の流通・市場研究の深化とわが国の自給率の向上への寄与とを究極的な目的に、近年、その市場において従来とは異なる変化がみられるようになってきた輸入冷凍野菜を取り上げ、当該市場が既に成熟期を迎えていると仮定し、製品ライフサイクル論の視点からその実証を試みました。

本研究において注目すべき点は、これまで同市場が成長期にあるか成熟期にあるかを論じたものではなく、著者が研究を進めるに当たって「現在は既に成熟期にある」という仮定を初めて立て、その仮定の正しさを証明したことにあります。

今日、同内容に関する研究が至るところで実施されているなか、本研究によって導き出された結果は、開発輸入業者や野菜輸出指向型企業がコスト削減対策や製品差別化対策を講じる論拠になり、野菜輸入研究の深化・発展に寄与すると考えられます。

受賞のコメント：

この度、皆様のご指導およびご支援・ご協力のお陰で日本農業市場学会の奨励賞を最年少で受賞することができました。

本研究所の研究会では報告する機会を多々頂戴しており、森島先生、小林先生をはじめとする諸先生並びに研究員の方々から賜る厳しくも建設的なコメントは上記の論文にも多分に活かされております。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

これに驕ることなく、益々努力していく次第でございますので、皆様、今後とも何卒、宜しくお願い申し上げます。

以上